

市民館跡地利活用構想案及び文化小ホール基本構想・基本計画

中間報告案に関する意見書

1 市民館跡地利活用構想案に関する事項

- ゾーニングについておおむね提示された内容が適切であるとする。
- 国庁舎のエリアも含め、一体感のある空間づくりのために、どのような方法が可能か検討していただきたい。
- 国庁舎と文化小ホールが混ざり合い、新たなものが生まれるような外部空間ができるよう検討していただきたい。
- 動線については、隣接する児玉公園も含めた歩行者動線や、徳山駅周辺を含めた回遊性、周辺道路の渋滞等を考慮した車両動線となるよう検討していただきたい。

2 文化小ホール基本構想・基本計画 中間報告案に関する事項

【方向性について】

- この施設を知らない市民も多いので、どのような使い方をすればよいか、わかりやすい周知方法などを検討していただきたい。
- 特別な人が行く施設ではなく、日常使いの場として気軽に行けるよう、敷居が高くないような施設となるよう検討していただきたい。

【基本的な考え方(理念、役割、機能)】

- 基本理念の中で、こどもまんなか社会実現に向けての観点があったことは評価したい。
- 機能、役割については、市民に伝わりやすい表現を検討していただきたい。
- 施設が担う役割を、関連部局と整理する必要があると考える。

- 人材育成機能に、サポーターやボランティアの育成についても検討していただきたい。

【文化小ホール機能(客席数、舞台)】

- 実際に活動する市民の声や、利用状況分析からもわかるように、現在、市内のホールが文化芸術活動の場として需要を満たしていない実情があることから、300～500 席は適切な客席数だと考える。
- 既存の 300～500 席規模のホールと差別化しないと、市民から見てもなぜ作るのか、ということになるので、既存施設との違いをはっきり打ち出すよう検討していただきたい。
- 舞台サイズについてはおおむね適切と考えるが、楽屋などの諸室も利用を左右する要素であることから、それらも含めて検討していただきたい。
- 本格的な表現活動に対応できる規模、舞台設備、スタッフを持つホールをつくるといった方向性を明確に打ち出すよう検討していただきたい。

【駐車場機能】

- 台数についてはおおむね適切と考える。

3 今後の文化小ホール基本構想・基本計画の策定に関する事項

【文化小ホール機能(客席数、舞台)】

- 客席数については、300 席と 500 席では性格が違ってくることを考慮に入れて、具体的な検討をしていただきたい。

- 舞台規模や客席などにグレードの良いものを求めることで、小さくともプロも使いたくなり、一流のアーティスト、ソリスト、アンサンブル、少人数の芝居もできて他県から来る、東京からも注目を集めるような場になれると考えるため、グレードの良いホールを検討していただきたい。
- ステージの高さについても考慮するよう検討していただきたい。
- 「西日本で一番アーティストが演奏していて気持ちの良いホール」、「客席との一体感のあるホール」のような、何か付加価値としてスペシャリティがある施設を作ることの明確に打ち出すよう検討していただきたい。

【駐車場機能】

- 立体駐車場を整備する場合、周辺の景観に配慮したものになるよう検討いただきたい。
- 健診車のスペースを確保できるよう検討していただきたい。

【運営、管理について】

- 人材育成機能に際して、理念を実現するためには専門家が必要と考えるが、文化芸術を市民のために活用できる人材が全国的に不足する中、そういった人材を「育てる」という視点を考えていただきたい。
- 運営面や駐車場機能などで「こどもファスト・トラック」の視点を取り入れたものを検討していただきたい。
(例：子育て家庭の優先案内、雨天時でも濡れないひさしの設置、子育て世帯用の駐車スペース)
- 利用者の安心安全を保障できる運営体制を検討していただきたい。

4 その他意見

- デザインについては、周辺環境との調和を図り、最終的には市のシンボルとなるような特色を出せるよう検討していただきたい。
- 児玉公園と市民館跡地をつないで一体化することにより、より効果的になると考えられるので、検討していただきたい。
- 小ホールでも相応のアーティストを呼ぶためには、催しの趣旨を明確にすることが大切になると考える。
- 部活動の地域移行について、指導者の不足等による文化活動の低下を懸念している。施設は整備したが指導者がいない、という状況は避けなければならない。
- 市民参画や有識者検討会議での意見をしっかり反映してもらいたい。特に市民ワークショップでの熱意を無駄にしないよう、文化小ホールの開館までの継続した取組を検討していただきたい。
- 本計画・構想の名称について、事業の進捗を踏まえた名称になるよう、検討いただきたい。

市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する
有識者検討会議 開催実績

○第1回：令和6年3月25日（月）

議題

- (1) 市民館跡地利活用に向けた経過
- (2) スケジュール
- (3) 文化芸術や劇場ホールの状況
- (4) 市民・団体からの意見聴取の結果（速報）
- (5) 市民ニーズから見える文化小ホールの考え方

○第2回：令和6年5月20日（月）

議題

- (1) 市民意見聴取の結果報告
- (2) 市民館跡地利活用構想の素案について
- (3) 文化小ホール基本構想の素案について

○第3回：令和6年10月11日（金）

議題

- (1) 経過説明について
- (2) 今後の流れについて
- (3) 前提条件の再整理について
- (4) 市民ワークショップの報告について
- (5) 施設機能について

○第4回：令和6年10月24日（木）

議題

- (1) 市民館跡地利活用構想案及び文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案に関する意見書（案） について
- (2) その他意見について

委員名簿

役職	団体名等	氏名
会長	山口大学大学院 創成科学研究科 教授	榊原 弘之
副会長	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 准教授	河野 拓也
	周南公立大学 福祉情報学部 准教授	竹下 徹
	周南公立大学 経済経営学部 講師	稲垣 円
	山口県桜ヶ丘高等学校 教諭	桐生 智晃
	周南市中学校文化連盟 会長	室内 文彦
	周南市PTA連合会 会長	藤井 崇史
	公益財団法人周南市文化振興財団 事務局次長	松本 久美子
	周南文化協会 会長	西崎 博史
	周南地域子ども応援連絡協議会 事務局長	原田 宗隆
	周南市母子保健推進協議会 母子保健推進員	岸 恭子
	(一財) 地域創造 プロデューサー	児玉 真